YQS2015 に参加して

(※**YQS**: Young Quantity Surveyors：４０歳以下の積算技術者の国際会議)

株式会社バル・システム　東京事業所　生島淳平

今回、PAQS 国際会議が日本で開催されるにあたり、YQS 実行委員として、YQS に参加しましたので、その感想を寄稿させていただきます。

１日目食事会にて

PAQS 国際会議につきましては昨年の入社後に初めて知りました。その中で、40 歳以下の QS による交流や議論の場があると聞いていましたが、今回、縁あって参加のチャンスをいただきました。

日本での開催にあたり、いくつかの会社から集まった YQS 参加のメンバーで様々な準備を進めてきましたが、全員でコンタクトをとりながら進めて行くことの難しさを実感しました。
ですが、BSIJ の方々や、YQS メンバーの個人個人が仕事の合間を縫って、準備を進め、無事本番を迎える事ができました。

プログラムは 2 日間を通して行われ、各国による論文発表、日本建築の紹介や観光、交流会などが主な内容になります。
論文発表では、各国の昨年からの状況や、今年以降の動向など興味深い情報も多く、また日本の発表も好評で、大変充実した時間となりました。

建築の紹介では、東京の都市模型や、スカイツリーの見学などを行い、協賛いただいた企業の皆様のご尽力もあり、大変多くの笑顔が見ることができたと感じております。
食事会も２日間通してありましたが、日本のメンバーが他国の YQS メンバーに比べて英語力が不足していましたが、各国参加者の優しい配慮や、わからないなりにコミュニケーションをとっていく中で、素晴らしい関係ができました。

全員で一緒に行動できたのは２日間という短い時間ではありましたが、その後開催された PAQS でも毎日の様に誰かとは顔を合わし、共に行動し、友人と呼べる人たちができた事に大変感激しております。

そんな中で、個人的に感じた事があります。
日本では、自国で仕事を完結できる分野も多くありますが、国際的なプロジェクトを行う上では、改めて英語力の必要性を強く感じました。

2 日目　東京駅前にて

私自身、現在は積算業界に身を置いておりますが、以前は広告代理店に勤務しておりました。
その際も、様々な業種の方とお会いしましたが、英語を必要とする仕事は大手の広告代理店に依頼しているケースが多かったように感じます。

仕事において一番重要なのはコミュニケーション力だと思っておりますが、英語を話せる事でいくらでも幅を広げる事ができるのだと思えた良い機会でした。

今回このような貴重な体験をさせていただけたことに深く感謝すると共に、YQS の発展、引いては日本の積算分野の国際発展に向けて、今の若い世代がより多方面に視野を広げ、新たな取組みにチャレンジする強い気持ちで仕事に臨む所存です。

そのためにも今後、より英語力を磨き、情報交換の場を設け、日本の良さを今後もアピールできればと思います。
最後になりましたが、改めまして YQS 参加という機会をいただけたこと、また開催にあたり、様々な皆様のご協力に対し心より感謝・御礼申し上げます。